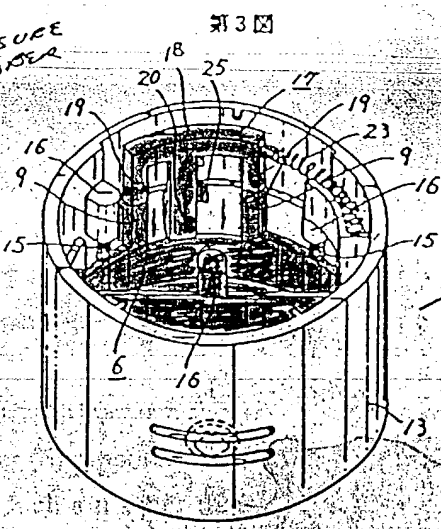
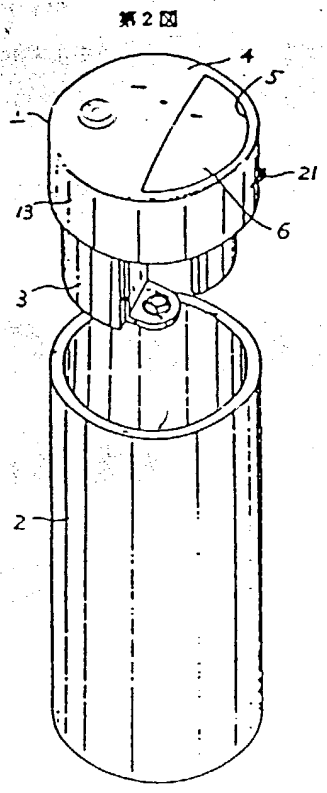


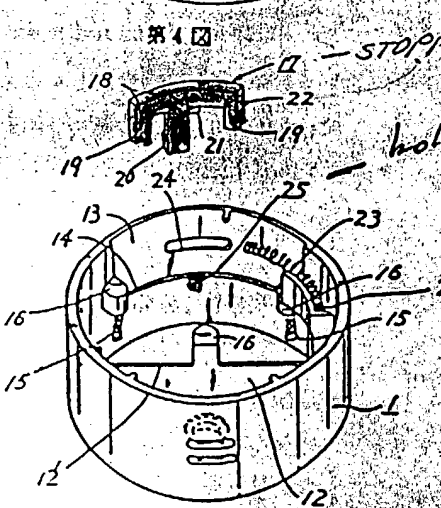
pressure member



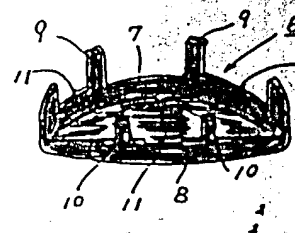
(locked)
bottom view of 13



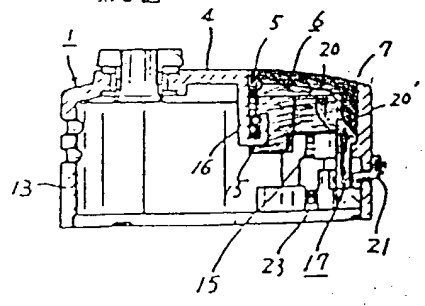
第2图



STOPPER MEMBER
holds (17) in locked position



第5图



unlocked

JP 56-32749

Japanese Utility Model publication No. 56-32749 (published on August 4, 1981)

Application No. 51-159472 (filed November 29, 1976)

Laid-open No. 53-77174 (published on June 27, 1978)

Applicant: Tanita Seisakusho Co., Ltd.

Title: Gas lighter having a lock member

Claim (single claim):

Safety mechanism for a table lighter, characterized in that a stopper member (17) for locking displacement of a presser member (6) supported slidably in an opening of a cap (1) is faced to said presser member (6) in such a manner that said stopper member (17) is usually forced elastically to a locking position but can be moved from said locking position by means of a latch member (17) which is integral with said stopper member (17), said latch member (17) being held at said locking position by an engaging mechanism (20, 25), and in that said stopper member (17) is released from said locking position at each time when said presser member (6) is actuated.

Drawing:

When the latch member (17) is moved along an oblong hole (24) to right (Fig. 3), lugs (19) of the latch member (17) are separated from contact with hooks (9) of presser member (6) and then a hook (20) of the latch member (17) mounts on a projection (25) of the cap (1) so that the latch member (17) is held in an unlock position in which the presser member (6) can be pressed down for ignition. The hook (20) has a slope (20') for facilitate the mounting.

When the presser member (6) is pressed down, a portion (7) of the presser member (6) is forced against the slope (20') so that the hook (20) is released from the projection (25) and hence the latch member (17) is returned to its original (locking) position.

F 23 Q 2/34
2/28
2/366529-3K
6781-3K
6529-3K

(全3頁)

1

④卓上ライターにおける安全装置

①発 願 昭51-158472

②出 願 昭51(1976)11月29日

公 開 昭53-77174

④昭53(1978)6月27日

③考 案 者 松永芳雄

東京都板橋区前野町一丁目14番2
号株式会社タニテ製作所内

④出 願 人 株式会社タニテ製作所

東京都板橋区前野町一丁目14番2
号

④代 理 人 弁理士 吉村悟

⑤実用新案登録請求の範囲

キャップの開口に揺動自在に仮装した押釦部材に
対向して押釦部材の移動を阻止するストッパー
部材を設け、ストッパー部材を常時前記阻止位置
に弾圧すると共にストッパー部材と一体の插片を
介してストッパー部材を阻止位置から遊退させる
ようにし、これと共にストッパー部材を前記遊退
位置に係止する係止機構を設ける一方、押釦部材
の移動によつてストッパー部材の前記遊退位置で
の係止を解除するようにしたことを特徴とする卓
上ライターにおける安全装置。

考案の詳細な説明

本考案は、卓上ライターにおける安全装置に関
し、特に常時押釦部材に対してストッパー部材が
動いて、点火毎に安全装置を解くようにすること
によつて、卓上ライターの転落や、その他子供の
いたづら等によつて簡単に点火が行われないよう
に構成する一方、その構造を極力簡易化すること
によつて成形、組立の手間を省き、廉価に提供せ
んとするものである。

従来の卓上ライターにおいては、テーブル等の
上に設置しておくものであるから、安全装置は普
通装備していない。このためテーブルよりの落下

2

や子供のいたづら等により点火が行われる場合が
あり、安全装置が設けられる所である。本考案は上

述の如き実情に鑑み考案したもので、而も構造を
極力簡易ならしめると共に使い易く構成し、組立

5 においても一本のビスをも使用せず容易に行い得

るようにしたものである。以下図面に示した実施
例について本考案の要旨を説明する。1はキャッ

プで、本体外側器壁2に仮合されるのであるが、
第2図示のようにキャップ1は先づ本体内側器壁

10 3と結合された後に外側器壁2に結合されるよう

にしてある。而してキャップ1の頂壁4には、半
月型の開口部5が設けてあり、該開口部5に揺動

仮入する同様半月型の押釦部材6を形成しその周
壁7及び8には夫々一對の鉤片9及び10を突設

15 すると共に該部材の一端を係合する

突子11を複数個突設してある。次にキャップ1
は、その内側に隔壁12を設け、押釦部材6の周

壁8に対向せしめると共に該部材12に鉤片10
の爪部が鉤片自体の弾力で係止されるようにして

20 ある。同様に鉤片9、9に対してはキャップ1の

周壁13の内側に段部14を設けて、鉤片9自体
の弾力により係合が行われるようにしてある。

15はスプリングで、隔壁12及び周壁13の内
側に突設した隆起部16の突起(図示せず)に一

25 端を弾力的に仮合支持されるようにしてあり、前

述の押釦部材6の突子11に夫々の他端を対向さ
せ且つ仮入するようにしてある。17は安全装置

用のストッパー部材で、周壁13の内壁面に対向
する両端を形成した横杆18と、両端の屈曲部

30 19と、鉤部20と、横杆18から折曲設した

横片21と、スプリング23の一端に挿通する突
子22とからなり、横片21をキャップ1の内側

から長孔24に挿通して、その先端を周壁13の
外面に突出すると共に突子22をスプリング23

35 に仮装してストッパー部材17を矢横方向へ弾圧

している。この状態においては、第3図示のよう
に両端の屈曲部19、19が押釦部材6の鉤片9、

9に対向し、同部材6の押し下げを阻止している(第3図はキャップを裏返して示す図である)。而してこの阻止作用を解くには、插片21を第3図中右方に長孔24に沿つて移動すると、屈曲部19、19が移動して鉤片9、9に対する係止を解くと共に鉤部20が周壁13内側の突起25を乗り越えて、これに係止される。従つてストッパ部材17はスプリング23の弾圧にも拘らず、押鉤部材6の押下許容位置に保持される。このため鉤部20の一侧には斜めに切り取られて乗り上げを容易にしてある。次いで押鉤部材6の押下によつて点火が行われるのであるが、同時に部材6の周壁7が第5図示のように係止された鉤部20の頂部の斜面20'上に押下され鉤部20を仰動する結果、突起25による係止が解かれて、スプリング23の弾力によりストッパ部材17は原位置に復帰し、屈曲部19、19を鉤片9、9の先端に対向せしめて、自動的に安全装置が施されるようにしてある。従つて本考案キャップにおいては、点火に際してその都度安全装置を插片21を介して解除するようにしてある。

以上のような構成のキャップを有する卓上ライターにおいては、一本のビスをも使用することなく安全装置の組込みを行ひ得るもので、先づ射出成型によつて合成樹脂から形成されたキャップ1に押鉤部材6を組込み込むには、キャップ1を第4図示のように裏返して、隆起部16の突起にスプリング15の一端を夫々仮装すると共にスプリング23も同様にして横方向に突起23'に仮装する。次いでストッパ部材17の插片21をキャップ1の内側から長孔24を貫いて外方に突出するように組込み、突子22にスプリング23の先端を嵌合する。この状態においてキャップを正常位置に反転した後、或は第4図示の状態において下方から押鉤部材6を開口部5内に斜めに挿入すると、突子11は、対向するスプリング15内に自然に挿通され、鉤片9及び10は対向する周壁13の内面及び隔壁12に接触しつつ押し込まれ、終に段部14及び縁部12'を越えて、自己の弾力により夫々係止が行われる。従つて一旦係

止が行われると、押鉤部材6が開口部5より離脱することはない。このように安全装置の組込みは極めて簡易に行われ得る。また組込まれた装置は、使用に當つて插片21を介して先づストッパ部材17を長孔24に沿つてスプリング23の弾力に抗して横に移動させると、鉤部20が突起25を乗り越えて、これに係止される。次いで押鉤部材6を押下して点火を行うもので、この押鉤部材6の下降は、同時に第5図示の如く周壁7の下縁が鉤部20を仰動せしめて突起25の係止を解除するから、ストッパ部材17は、押鉤部材6の上昇に伴つてスプリング23により係止位置へと自動的に復帰し、部材6の降下を阻止することとなる。

叙上の如く、本考案においては、射出成型による簡易な手段によりキャップ、ストッパ部材、押鉤部材等の部品を成型することができ、組込みも容易であり、使用に際しては安全装置を解いて解放位置に係止させ、押鉤部材の下降動作に蓋いて前記係止作用を解除せしめるものであるから操作も容易であり、不慮の点火を防止し、実用上利益する所多大である。

図面の簡単な説明

第1図は本考案装置を施した卓上ライターの斜断面図、第2図は本体外側蓋を取り外した斜断面図、第3図はキャップ部を逆倒した斜断面図、第4図はその分解斜断面図、第5図はキャップの中央縦断面図である。

- 1……キャップ、2……本体外側蓋、3……本体内側蓋、4……キャップ頂壁、5……半月型開口部、6……押鉤部材、7、8……押鉤部材の周壁、9、10……鉤片、11……突子、12……隔壁、12'……縁部、13……キャップの周壁、13'……開口周縁、14……段部、15……スプリング、16……隆起部、17……安全装置用のストッパ部材、18……横杆、19……両端屈曲部、20……鉤部、21……插片、22……突子、23……スプリング、23'……突起、24……長孔、25……突起